



RLI 通信

Vol.14

ロータリー・リーダーシップ研究会
RLI 日本支部第 2790 地区

2020 年 10 月号

第 2790 地区

RLI 卒後コース開催



RLI 日本支部第 2790 地区

代表委員 山田 修平

(木更津東 RC)

開会式 挨拶 (挨拶抜粋)

皆さんこんにちは。今日は水曜日で、私のクラブは、例会日でした。もしかしたら、例会を優先されて欠席されたかたもおられるかもしれません。

今日は 13 名の方が卒後コースに出席され、本当にご苦労さまです。後ほど「ロータリーを愉しもう」というセッション、トークがあるようで、楽しみにしております。前にもお話したと思うのですが、「ロータリーを愉しもう」というのはですね、「娯楽的に楽しもう」というのではないんです。クラブの行事とか例会、ロータリーを楽しむために、娯楽的に楽しむようなプログラムを実行しているクラブもあるように感じております。そうではなくて、ロータリーを一生懸命にやって、その結果、愉しかった。と、いうことで、今日は時間の許すかぎりですね、皆さんで、話し合っ、他に、愉しんで、成果をあげて頂きたいと思ひます。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。



RLI 日本支部第 2790 地区

代表 DL 海寶 勘一

(千葉西 RC)

RLI パート I～III を振り返って

皆さんこんにちは。御紹介を頂きました RLI 日本支部、地区代表が、今、ご挨拶していただきました、

山田パストガバナーが、お務めになっておりまして、私は、その組織の中のひとつの委員会がございまして、ディスカッションリーダー (以下 DL) 委員会 そこに所属をさせていただきます。ただ、皆様にお伝えするには、ちょっと、パワー不足というところございまして、日本の支部も、26 地区が所属、RLI を開催していると思いますけれども、まだまだ組織として、完璧には運営がされておひません。ですから、支部と各地区の DL の繋がり、なかなか上手く運営がされていないという現状がありまして、今後、この課題を、是非、山田地区代表を通して、改善をしていただきたいと思ひております。その改善によって、各地区の、RLI の資質が向上しますし、また、なによりも、今後皆さんが、DL 養成コースを通して、DL になったときに、改めて DL の良さ、資質向上に向けることができると思ひております。ちょっと、テーマを頂いた話題からは、外れてしまいましたけれども、今日、頂いた、セッション。パート I～III を振り返ってということなんですが、どうでしょうか。私が振り返るというよりは、参加された方々が、パート I、パート II、パート III を通して、どのようにこの RLI というものを、各自皆さんが、自分のものに理解できたか。また、理解を深めることができたのでしょうか。それぞれ、お一人お一人が、感じ取って頂きたいと思ひます。私は、DL の一人の仲間として、今、お話をさせて頂いているんですが、なかなかこの DL というお役目が、担ってはいらるんですが、トレーニングの時間が少ないですし、また、先ほどのご紹介させていただきましたように、日本支部からの指導ということの、レベルアップのですね、勉強の場も、充実してませんので、なかなか皆様と、満足したディスカッションができなかったと。というのが、偽らざるところがあると思ひます。でも、今回務めていただきました DL の皆さんは、熱心に、情熱をもってですね、精一杯トレーニングに励んでいただきました。

場当たりのなものではなくて、セッションごとにチー

ムに分かれていただきまして、6セッション、6チームに分かれたDLのグループが、DLのもとに、いろいろ、研鑽するという、機会を設けておりました。ですから、その機会を通して、どれほどの力を発揮したかは、参加された方の、評価するところだと思いますけれども、まずもって、参加されるかたの、DLの皆さんも、同じ、一ロータリアンということです。決して、プロのDLではありませんし、専門的なトレーニングを受けたDLが、実際の現場に立って、やっているわけではないということを、改めて、御理解していただければありがたいと、思います。これは、決して、自分を、身を守るということを、お願いしているということではなく、なかなかその、専門的な、トレーニングができないなかで、精一杯、私たちが、努力をして、参加されるかたをお迎えして、一緒に、ディスカッションを愉しんで頂くというのが、パートⅠからパートⅢの、セッションのなかだと思えます。ただ、このパートⅠ、6セッション、パートⅡ、6セッション、パートⅢ、6セッション、18のセッションカリキュラムがありましたけれども、これにつきましては、日本支部を通して、皆さんお手元のテキストに則って、進行させていただきました。これは、国際RLI委員会の指導のもとにテキストが、整っておりますので、ここが変更されることなく、日本固有の、米山奨学委員会のプログラムを加えた、プログラムとして、18セッションカリ

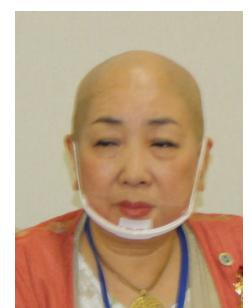
キュラムを進めさせていただきました。私たちは、クラブでどうでしょうか。参加されている皆さんのクラブ、どれほどロータリー観、というものについて、普段、例会のなかで、語り合うことができているのでしょうか。なかなかそういう機会が、1時間の例会の時間のなかでは、難しいという現状があると思います。また、地区委員会が企画するセミナー、講演会を通して、なかなか個人のレベルをアップする、そういう研鑽の場がないというなかで、この地区で企画しております、RLIというものが、改めてロータリーの良さ、というものを引き出す、機会になってくれていると思います。ですから、今後は、この卒後コースを通してまた、来月ですか、企画されておりますDL養成コースを、皆さんも是非、参加して頂いて、DLとしても、改めて、RLIを通して、ロータリーの良さを学んで頂ければ、ありがたいと思います。セッションテーマ、今頂いた、振り替えってという問いかけには、答えることはできませんけれども、一緒に、ロータリーを愉しむということで、今日ですね、皆さんと御一緒にさせていただければ、ありがたいと思います。今日は、任意のコースになっておりますので、テキストからのセッションテーマ、カリキュラムとか、ちょっと、かけ離れておりますけれども、ロータリーを愉しもうということで、この午後のプログラムに、参加していただければありがたいと思います。ありがとうございました。

第2部

トークセッション



RLI 推進委員会
水嶋 陽子 (館山 RC)



RLI 推進委員会
齋藤 由紀 (柏南 RC)

トークセッション（セッション抜粋）

「ロータリーを楽しもう（愉しもう）（私の RLI）」

司会 RLI 実行委員長 清田 浩義（千葉 RC）

パネラー

RLI 推進委員会 委員 齊藤 由紀（柏南 RC）

RLI 推進委員会 委員 水嶋 陽子（館山 RC）



RLI 実行委員長

清田 浩義（千葉 RC）

清田 今日は、ロータリーの楽しさというところを是非。RLI 推進委員会は、今年度から改めて第 2790 地区に RLI を普及させる。ロータリアンの皆さんに、RLI の素晴らしさ、楽しさを、知って頂く、というための PR。プロモーションをする。そういう役割を推進委員会が担っていたんです。ロータリーの楽しさ、そして RLI の楽しさを是非、お話していただければと思います。それでは、この RLI、パートⅢまでされて、どんな感想だったのか、その辺からお話をしていただけますか。



RLI 推進委員会

水嶋 陽子（館山 RC）

水嶋 感想ということですが、私はパートⅠ、Ⅱは、この第 2790 地区で研修させて頂いたんですが、パートⅢが諸事情によりましてどうしても受けられない中で、広島まで行って、パートⅢは、研修を受けさせて頂きました。今回 RLI に参加させていただいて、一番感じていることは、普段、第 2790 地区のなかでは、自分のクラブで、中でのいろいろな、「お知り合い」だったり、いろいろな意見を交わせる仲間がいるなかで、この第 2790 地区、全体でのいろいろな方々と知り合えたこと。また、いろいろな、研修を積むことによって、ロータリーを別の部分から、見ることができたことが最大の、

得られた、良いことだったなど。加えて、同じ研修を積んだ仲間と、時間を共有することによって、親しみも湧き、いろいろ情報交換をしたり、自分を高めることもできました。この一年というのは、本当に宝物だったと思います。今後、DL をまた、させて頂くなかで、皆さんと切磋琢磨、意見交換しながら、良い RLI が、できたら良いなと思います。以上です。

清田 はい。ありがとうございました。水嶋さん、今回初 DL で、パートⅠからパートⅢまで、通して担当していただきました。ありがとうございました。

斎藤さん、いかがですか。



RLI 推進委員会

斎藤 由紀（柏南 RC）

齊藤 3 年くらいやっているの、最初にやったときの感じと、今現在は、まるっきり違うので、パートⅠからⅢまで受けたときの感じでよいですね。「行け。」と、クラブで言われたので、研修かなと思って来て、朝から晩までであると聞いたときに、学校形式で、私、学習塾経営しているものですから、6 時間、この年齢で、もたないな。という感じで、(笑) どうしようと思って、続かないと思って、そんな思いで来ましたら、皆さんからのセッションで、寝てもいられない。非常に変わった方式の研修会というのが、そのときにありまして、最初のうちは、発言も積極的ではなかったのですが、6 時限目くらいになると、なんでも、言っちゃってもいいんだなと思って、結構自分もリラックスできて、もう終って、ホッとはしたんですが、全部やったということで、気分爽快で、こういう研修会もいいなと。私の場合は、DL 養成コースまで 5 回終わらせて、そのときは現在とは全く違いますので、こういう研修会がひととおり終わって、なんかいい感じができたなど。ロータリーって何だろう。というのを全然考えないでやってましたから、知りたいと思ってもなかなか知れない。というのがありました。月信やロータリーの友を読んでも、身近にわからない。皆さんと触れ合う地

域が違い、自分の会以外の方と、まして、ガバナー経験者、勉強している方のお話を聞けるし、中身が濃かったなど。懇親会がありましたので、勉強した仲間と御一緒に、食事したりして仲良くなった。仲間づくりもできるし、勉強もできた。これ、すごく良いことだなど。DLになるというお話があって、延長戦にあるといいますけれども、こういう事を広めることは、絶対に良いことだなどと思います。

清田 RLIを始めるきっかけ、RLIを体験して骨身に感じている、というお話を頂きました。皆さんも、最初にRLIと接したときの思いをそれぞれお持ちだろうと思います。楽しさをどうやって共有するかというお話ですので、次の質問は、「ロータリーの楽しさ」体験を踏まえながらお話をしていただければと思います。

水嶋 まず楽しさ。例えば、集中的に1日で詰め込むようなハードな時間のなかで、同じテーマについてみんなで考えることというのは、なかなかクラブに戻っては、そういうこともないですし、回を重ねるごとに、皆さんのモチベーションが上がって、いろいろな考えがそれぞれに、出てきますし、それが、心通じる部分になっていくというのが、一番の良いところではないかと思っています。次に、ロータリー。地区の方へ出向しないと、そういう機会もありませんので、せっかくの、ロータリーの寛容ですから、そういうところを最大限につかって、良い仲間づくりをしたら良いのではないかと思っています。それを私は、経験上思います。

清田 短い時間のなかで、ロータリーの楽しさが、RLIに参加することによって、倍増してきた。こんな、お話だったかなという風に思います。齊藤さん、いかがでしょうか。

齊藤 楽しいという感覚は、あると、思います。が、すごい財産をもらったと、思います。3年間、DLをやらなかったら、ここまでは来れなかったと思います。ロータリーの寛容が何かとか、全体のロータリーが、どう進んでいこうとか、はっきりと明確にしてくると、ロータリアンとしての自信がつきますし、来年、会長なんですけど、全て活かせる。と、思います。そういうロータリーを理解する、イコール、ロータリーは、楽

しい。ロータリーの中で生きていける。まだまだですよ。「ガバナーの経験した」とか、何十年も在籍されている方、沢山いらっしゃいますんで。知識は、わかりませんが、考えのなかで、これだけ勉強できたという財産は、すごいと思います。何十年、同じ会でいても、自分の会だけでは得られない知識と人脈。是非、使っていただいたほうが良い。ロータリアンでいるのならば、この機会を利用、利用という悪いんですが、利用して頂いて、こういうのないですから、しっかりやっている。第2790地区みたいに、みっちりやっているところ、なかなかないので、それこそ、1回休んじやうと、広島まで行かないといけない。また、広島の内容はきつかったらしいですよ。厳しかったらしいですよ。ものすごく。一気に行っちゃったほうが、絶対によい。卒後コース、DL養成コースをやったレベルでは、わかりません。反対側に回って、DLやりながら学ぶことも、ものすごく多いです。そっちが1だとしたら、こっちは、もう、9ぐらい。だから、だまって、3年やってみたら、別人になります。ロータリアンが出来上がりだと思います。まあ、未熟なところは、ありますが、そういう感覚をもてたということが、私の財産です。来年は会長になって、自分の会では、試していませんが、会長になったら、会で、過去のDLさんがいれば、その方を配置して、3人でも、5人でも、グループを作って、ロータリーのテーマを少し入れさせて頂いて、ロータリーというものを、皆さんに理解して、全体のレベルアップを、図りたい。できるかできないかはわかりませんが。そんな会にしたいなという、イメージは持てます。楽しいということが、ロータリーを知るというのと、二つ見えてですね、やっぱり、バッチをつけて、なにをやっているのかわからなくなっちゃうから、「ロータリーは楽しい。」「食事するところ?」「楽しくするところ。」「仲間がいるところ。」それは、すごく良いところだと、思いますけれども、折角、世界的な規模で、素晴らしい活動をしているロータリーのバッチをつけている自覚をしていただけるような、ロータリアンになれるチャンスですから、もう一気に最後まで行って、できたら、DL、3年だまってやってください。(会場 笑 騒然) 別人になれますから。

卒後コース修了者



寒郡 茂樹 (富里)



原 幸司 (富里)



松永 達人 (富里)



高田 新也 (柏)



上村文明 (我孫子)



長井弘亘 (市川南)



荒井光江 (市川東)



黒田和宏 (市川東)



松本俊英 (千葉中央)



矢野憲治 (千葉中央)



東 孝俊 (千葉)



長谷川 俊夫 (鴨川)



青木 貞雄
(成田コスモポリタン)

修了証書授与 13 名

第 2790 地区 R L I 開催日程	2020-21 漆原ガバナー年度 R L I 開催日程 【参加登録費制度】		
・ 第 1 回 DL プラッシュアップ 研究会	2020 年 11 月 15 日 (日)	13 時開講	千葉市民会館
・ 第 2 回 DL プラッシュアップ 研究会	2020 年 11 月 29 日 (日)	13 時開講	千葉市民会館
・ 第 3 回 DL プラッシュアップ 研究会	2020 年 12 月 20 日 (日)	13 時開講	千葉市民会館
・ パート 1	2021 年 2 月 6 日 (土)	10 時開講	千葉市民会館
・ パート II	2021 年 3 月 13 日 (土)	10 時開講	千葉市民会館
・ パート III	2021 年 4 月 3 日 (土)	10 時開講	千葉市民会館
・ 卒後コース	2021 年 5 月 8 日 (土)	13 時開講	千葉市民会館
・ DL 養成コース	2021 年 6 月 6 日 (日)	13 時開講	千葉市民会館

地区 RLI 参加状況 2020 年 9 月 7 日現在

地区内参加者 383 名 パート I II III 修了者 245 名 DL 養成コース修了者 113 名

RLI 通信 7 月号 2021 年 1 月 11 日発行

国際ロータリー第 2790 地区 RLI 推進委員会

委員長 山下 清俊 (市川東) 委員 清田 浩義 (千葉) 齋藤 由紀 (柏南) 水嶋 陽子 (館山)

〒 260-0042 千葉市中央区椿森 3-1-1-302 TEL043-284-2790 FAX043-256-0008